



洋書輸入協会会報

Vol. 32 No. 11 (通巻378号) 1998年11月

フランクフルト書籍展

今年は昨年より1週間早く10月7日から10月12日迄で開催されました。国別テーマでは『スイス』ということでした。

世界的な不況を反映したわけでもないでしょうが出展社数、入場者数共に昨年を下回った結果になったようです。残念ですが日本からの参加者数は把握できませんでした。私の訪問した出版社のなかでも来年は出展を見合

わせるような話も出ておりましたが来年はどうなる事でしょうか。

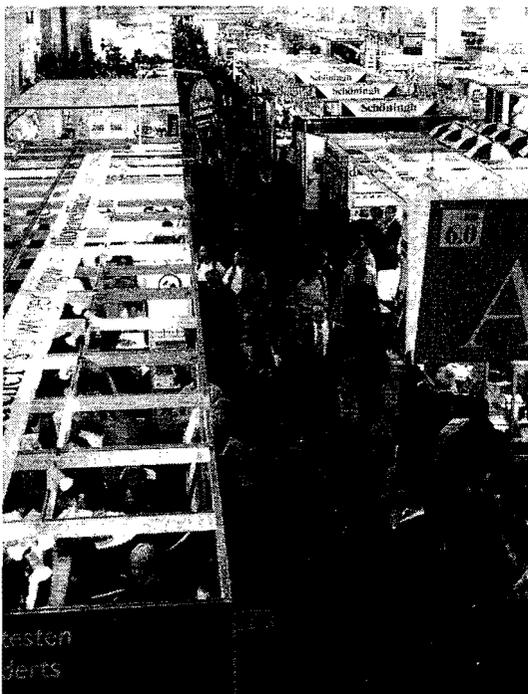
出展社のスタンド展示は昔も今も新刊を中心としたものではありませんが、その中身は冊子体だけではなく電子メディアを取り入れたものが非常に増えて、検索だけではなくその内容までもディスプレイ上で見ることができるとの売り込みが激しく競われています。そのほかジャンルによっては、展示を引き立てるために自動車などを持ち込んでいるところが数多く見られました。

今年には第50回で半世紀を経たこととなります。私が初めて参加したのは洋書輸入協会の主催する『国際書籍展視察旅行』で、昭和44(1969)年10月1日から25日間の2階建てバスによる長期間の視察でした。当時は、展示の内容だけでなく会場の建物も2棟くらいを使って開かれていましたが、現在では6棟を使い、しかもその建物の2階3階も展示場によっていて、とても会期中には回ることは不可能ではないかと思えます。タバコ売りのおばさんの声も聞こえて来なくなり、マーケットが会場の外に立ち並ぶというように変わりました。

21世紀に向かって、出版の形態がこの数年でどのように変化発展していくか先が読めない部分もありますが、フランクフルト書籍展も時代に応じたものになると思えます。

来年1999年は10月13日～10月18日

国のテーマは『ハンガリー』



目次

フランクフルト書籍展	1	うちの会社	3	出版文化史逍遙	5
理事会報告	2	海外ニュース	3	広告	8
文化厚生委員会だより	2	パソコン外論考(其13)	4		

参加数	1998年	1997年
出展社数	6,758社	6,840社
出展社数(日本)	52社	58社
入場者数	289,334人	291,201人

私がいわゆる書籍だけでなく出版物も扱っている関係で、視野が少しずれていたかもしれませんがここ数年の変化を振り返ってみました。

アカデミア・ミュージック(株) 平岩記

理事会報告

11月2日(月)

- 98年度前半6ヶ月の収支状況が事務局長より報告された。
- 営業規模アンケートの回答状況が事務局長より報告された。
 - 70社より回答を得た。
 - 未回答12社の内9社についてはデータ入手可能、3社については推定により判定する。
 - 総合判定は3項目の申告ランク中の最も大きい規模のランクを基準とする。
 - 総合判定の結果を理事会案として総会前に全会員に通知する。
 - 規約改正に対する意見等は8社から寄せられた。
- 臨時総会において、議案審議の前に98年度前半6ヵ月間の収支および予算遂行見通しを報告する。
- 東京国際ブックフェア会場内で海外出展者が即売を行う際の消費税徴収を遵守させる指導を、実行委員会を通じてリードエグジビションに申し入れる。

文化厚生委員会だより

フォーティラブ秋季合宿に参加して

2度目の宇宙飛行に臨む向井千秋さんと77歳のジョン・グレン上院議員を乗せたスペースシャトル・ディスカバリーが打ち上げられた翌日の10月31日、恒例の秋合宿は千葉県野田市(東武野田線)のロイヤルSCテニスクラブで、20人の参加者を集めて開催された。この野田ロイヤルの近くには利根川が流れ、名門パブリックで知られる紫ゴルフコースをはじめとする複数のゴルフ場が散在する緑地帯が広がっている。当日は、前日まで続いた不

順な天候が嘘のような晴天に恵まれ、朝9時からダブルスの熱戦が繰り広げられた。

30代後半からテニスを始めた私は、この同好会ではまだ若輩者で、この日もいつもと同じように、心優しき先輩達の放つ黄球の洗礼を受けて四苦八苦する始末。テニスというものは、単に力まかせに押していけばいいというものではなく、早いボールに緩いボールを混ぜたり、深いボールと短いボールを巧みに使い分けことがゲームメイキングには大切になる。それは、どこか人生の生き方に似ている、とここまで書いてきて、そう言えば、フォーティラブの諸先輩は、人生達人の域に入っている方が多くいらしゃることに気づき、テニスの腕前もむべなるかなと得心がいった。

東光堂書店の柴田さんのいつもながらの名幹事ぶりで、昼食を挟んで、ゲームは順調に進められた。この会にはいつもビギナーの人たちが参加して、ミニスクールが開催される。今回は、洋販の鈴木さんが名コーチぶりを発揮して、若いスクール生の実技指導に当たられた。初心者にとって、一番大切なことはとにかく沢山ボールを打ってスイングの感覚を体で覚えることだが、この会に参加すれば、まだ経験の浅い人でも普段味わえない体験をもち帰ることができると思う。

暮れなずむ頃、クラブハウス前で開かれたバーベキューでは、オックスフォードの若手元気社員の栗野さんが、料理の達人に変身し、次々にご馳走を焼き上げてくれて、参加者一同、ビールや熱燗を片手に、舌鼓を打った。会もたけなわとなり、ふと上空を見上げると、季節外れのおぼろ月夜で、淡く輝く半月のすぐ傍らを一条のすじ雲が走っている。それはあたかも、遥か大気圏外を滑るように走るディスカバリーの残した航跡のようにも思えるのだった。

医学書院エムワイダブリュー 正路 修

太陽洋書株式会社

「光陰矢の如し」「歳月は人を待たず」という言葉があるが、早いもので当社も創業以来満20年の歳月が流れた。当社の取扱い分野は主として理工学、薬学、ライフサイエンス、農業関係であるが、今日の日本経済の大不況下で同業他社と同じ事をやっても中々大変で非常に厳しい。幸い農業関係の「Agrochemicals Japan」(英文誌)の海外への輸出もやっているのので何とか心強いのが現状である。輸出先は主として米、英、独、仏、伊、オランダ、イスラエル、サウジ、ペルー、アルゼンチン等その他約25ヶ国である。

今日、情報量が膨大になっていてペーパーからCD-ROM等に移り、オンラインの普及により世界が本当に狭くなってきた為、経営者としても大いに勉強させられる時代になってきた。

最後に一会員の経営者として一言申し上げたい。国では行政改革を推進しているが、洋書業界でも生きた役立つ協会である事を切望し、思い切った改革を断行し厳しい昨今であるが、業界各位の更なる発展を期待致します。

成瀬 功

海外ニュース

米国シアトルを拠点にしたインターネット書店 Amazon.com はドイツ (<http://www.amazon.de>) と英国 (<http://www.amazon.co.uk>) に新しいサイトを設立した。

ドイツ書のほとんどは Regensburg の倉庫から、英国書は Slough の倉庫から、それぞれ供給される。ヨーロッパよりも早く出版されているアメリカ版も、顧客が望めば Amazon.com からヨーロッパの顧客宛に送品される。ただし、地域的な販売権にかかわる法律のため、このサービスは今のところ一般の顧客向けに限られ、書店などの卸用には適用されないと、同社商品管理部門の Ms. Mary Morouse, Vice President は述べている。

ドイツのサイトでは、現在同国で出版されている33万5千タイトルの書籍を購入することが可能で、これに加えドイツ国内では出版されていない米国書37万4千タイトルも供給されている。英国の倉庫には、英国で出版された120万タイトルの書籍が在庫されており、ドイツと同様に同国で出版されていない米国書20万タイトルを入手することが可能となっている。

地域的な販売権や再販制度などを含む不確定要素をふまえて「現在よこたわっている地域的な販売権の障害のなかで、我々は最大限の努力をはらっている」と Ms.

Morouse は語った。

PUBLISHERS WEEKLY/OCTOBER 26, 1998

THE BOOKSELLER/OCTOBER 30, 1998

アジア不況 S'pore 市場も直撃

シンガポールでの書籍販売は、過去6ヶ月間で少なくとも50%ダウンしたとのことである。SINGAPORE BOOK PUBLISHERS ASSOCIATION の Mr. Ra Perumal は、東南アジア地域の経済崩壊が深刻な打撃を与えていると述べた。昨年11月に開店した BORDERS のスーパー書店が中小書店への打撃に拍車をかけた。14万タイトルもの在庫を持つこのアウトレット・スーパー書店は、地元購買層の25%獲得を目標にしているが、彼らも経済不況の波をのがれることはできない。BORDERS の広報担当者によると、彼らは売上増加のためプロモーションの拡大を計画中とのことだ。

書籍輸出業者や専門書販売業者もまた不況の打撃を受けている。日本の書店マネージャーによると、本社がシンガポール店の経費及び人員削減を行って以来、売上は急激に落ち込んでいるということだ。シンガポールの大手輸出業者は、ルピア下落のためインドシナなどの国からの注文及び支払いは一時停止していると述べている。

THE BOOKSELLER/OCTOBER 30, 1998

パソコン外論考 (其13)

宇田川一彦 Udagawa Kazuhiko

◆まにあえばいい！/Just in time.

子曰、詩三百、一言似蔽之、日、思無邪、

The Master said, 'The Odes are three hundred in number. They can be summed up in one phrase,

SWERVING NOT FROM THE RIGHT PATH.'

(論語/為政・Confucius; The Analects/Book II)

【超拙意訳；先生が言われた。『詩経』の約300編、一言で要約すると、『思い邪(よこしま)なし』、詩の本質はだね、感情の純粋さ、これに尽きるよ】

[外注；この句は、詩経の最後の魯頌の巻の「思無邪、思馬斯徂=馬をこれをゆかしめんとする=馬よ、走れ、まっすぐに！ ただひたすらにまっすぐに！」ものです]

今号でも、2バイト系文字の話を少し休ませて、筆者の経験した「パソコンの実践編」を取り上げます。

■と、言っている矢先に本年5月、6月でちょっと触れました『抱合せ販売』・OS 独占を嵩に懸かった商法(ぶっちゃけた話、競争相手に対しては買収・提携を持ちかけつぶしに懸かるなどの噂は飛び交っていたが……)に関するある裁定ができました。問題の抱合せ販売帝国 MS (マイクロソフト) 社に対して、公正取引委員会が、11月20日独占禁止法違反の疑いで排除勧告をだしました。

かの本国では、徹底抗戦、翻ってわが国では「金独占の王者は喧嘩せず」と、この勧告に承諾するという。うん、対向馬 (Just System) も勝手にこけてくれるし、抱き合わせするなど言っただけで、もう勝負がついた感が否めず、いかなるコメントもなしが筆者の本音です。

まあ、OS はこの王様の Win でなく、UNIX ベース、無料に限りなく近いリナックス (Linux) に乗換えればいいのです。

■で、次の話題、11月2日より11月9日までポルトガルのリスボン Lisbon (Lisboa) で開催された、ある国際会議と競技会の取材で経験したことです (公用言語が英語)。39か国参加。競技会も1国1名の代表選手参加。

あっ！ なんて、Corsa の宣伝と思ったら、これはドイツの Adam Opel 社のもの。因にわが国では、Vita といっている代物。トヨタは、Collora ばかり。でも、幅を利かせているのは「Onda (我が愛するホンダの現地表記)」の Civic です。車は、新車のバリバリ

でなく、5年、10年落ちの Volvo とかが圧倒的多数、たまに BMW や Rover を見ました。運転は筆者と同じくらい荒っぽい。しかも、信号機など無視の歩行者群。タクシーなどは M. Benz の日本で言う「小ベンツ」。初日は右側通行馴染めず、3回ほど轢き殺されそうになりました (〇は忘れても、傷害盗難保険だけは忘れずに!)。町は道路標識が日本と比べるととぼけない！ に比しいので、石畳と相俟って美しい。

大会の会場ともなった5つの星ホテルの Front には、デスクトップのパソコンが1台、これで名前を言いますと部屋の割当を行うだけに使用しています (マシン等は不明)。そして大会運営事務所 (室) には、マシンが3台、これは、名札の再発行を願うに行った時 check.

マシン+モニター (15inch) は、DEC (だかデスクトップのもの、いまや主流の Tower 型は少ない)。CPU は、Pentium (II にあらず) の133MHz、メモリーは32KB、OS は Win 95 (98にあらず。このメモリーでは Win 98は起動不能?)。プリンターは Epson.

参加者名簿管理と競技順位の集計には、MS 社の Word と Excel を使用。当該抱合せソフトの Duo.

名札の再発行のために、Win 95が立ち上がって Word に行き、Excel から著者の名簿を持ってきたのはいいのですが、いざ名刺大の大きさに印字する書式 (プリンタールーチン) が分からないでオロオロしているうちに、パソコンがダウン、美しき女性が「××！」。冗談で、日本ではパソコンをノックすると直ると言いましたら、実際にやってみて、両手を彼女は広げました。

で、事務長が出勤。駄目なものはダメで、もう一台で try するも、これを肝心な名簿ファイルがはいってなく、直接筆者のスペルを聞き、打ち込み、タイプライター替りにプリンターを使って事なきを得ました (紙を上下左右に入れたりして試行錯誤の末)。この辺の臨機応変さはタイプライター文化。

で、最終日。競技会の最終結果を Excel でプリントアウトした物を貰いびっくりしました。1~39位までであると思ったら、26位までしかない。ロシアの Competitors が筆者のものを覗き込み、22位。「えっウソッ」ってな顔をして、順位を数えていました。10位以下は各順位に3~4名いるのです。だけど、10位の次は11位、12位。結果は、彼は32位。この発表は奇妙と絶句。

現在小学校などの運動会の順位不明のやり方に似ている、と思った次第です。以下次号乞御期待。

明治初期の目録に見る洋書〔4〕

丸善・本の図書館 鈴木陽二

◆明治9年洋書リストにみる輸入の状況(4)

【スペンサー社会進化論の受容】(続き)

スペンサーの社会進化論は明治初期を席卷した学術思想であっただけに、ダーウィンに比べて翻訳も早くから始まった。明治10年に、弱冠二十歳の尾崎行雄によって「社会静学」の抄訳『権利提綱』が出版されたのが、わが国におけるスペンサーの最初の翻訳であった。その翌年明治11年には、「教育論」(1877)の翻訳『斯氏教育論』が稲垣銀次によって行われ、さらに「代議政体論」(1877)が『斯迦徹氏 代議政体論』として鈴木義宗の訳で刊行された。「社会学研究」(1873)は明治12年に竹内正志が訳した『経世新論』が、また、松村精一郎により『社会論 第一編』として翻訳刊行された。そして明治14年には「社会静学」の全訳『社会平権論』が島島剛・大野堯運の共訳で刊行され、大変な反響を呼んだ。

スペンサー畢生の大作「綜合哲学体系」の第1巻『第一原理』は明治15年に刊行されたが、続刊の『倫理学原理』と『社会学原理』も明治15～16年にはそれぞれ翻訳された。以上挙げた著作を含めて、明治20年までの翻訳書刊行はなんと28点にもものぼり、この時代の他のどの著述家よりも遙に多い翻訳書が出版された。

ところで、上記『社会平権論』はスペンサーの処女作“Social Statics”(1851)の最初の完訳で、訳者の島島剛は青山学院の教授や理事を歴任した地理学者であった。この本は「自由民権運動の中に空前のスペンサー・ブームを巻き起こした」「明治初期の三大訳業と称すべき不朽の名訳」(山下重一『スペンサーと近代日本』)と評価されているように、出版されるや自由民権運動のバイブルとして運動の推力になったばかりではなく、明治初期日本の思想や社会全般に極めて大きな影響を与えた。ちなみに、三大訳業とは中村敬字(正直)によるジョン・チュアート・ミルの“On Liberty”の訳『自由之理』(明治4年)と中江兆民のルソー“Du contra social”の訳『民約訳解』(明治15年～16年)であった。

社会進化論も生物進化論と同様丸善洋書リストの明治9年は、まだそのブームが到来していない年であった。それを考えると、当時の洋書業者の時代の先取りに敬服

すると共に、このリストがスペンサー受容史研究の上で看過できない資料のひとつであることが理解できる。

【ジョン・ステュアート・ミルの受容】

日本人がミルの学論に接したのは、スペンサーより早かったものと思われる。中村正直(敬字)は幕府英国留学生の取締として慶応2年に渡英したが、そのころミルは学者として、また国会議員として活躍していた時代なので、当然ながらその思想と学説に触れ、修得する機会に接したことであろう。彼は幕府が崩壊した明治元年に帰国して、徳川家達が一大名として駿府(静岡)に封ぜられたとき開設した洋学校「静岡学問所」の教授に就任した。そして教育に携わるとともにスマイルズの「セルフ・ヘルプ」を翻訳して明治の一大ベストセラーとなった『西国立志編』(明治4年刊)を著し、相次いで同年ミルの『自由之理』を上梓した。彼のミルの日本への紹介は、最も早い段階のひとつであった。

日本近代哲学の祖と称されている西周は、幕府の留学生として文久2年(1862)にオランダに派遣されたが、慶応元年に帰国したおり多くの書籍を持ち帰っている。彼の残した蔵書の目録にはミルの著作が7点も含まれているが、その時の将来品ではないかと推定されている。西はライデン大学の経済学者フィッセリング教授や C. W. オブゾーメルの指導を受けたが、オブゾーメルはこの時代のオランダ哲学界で最も勢力のあった学者で、しかもミルの信奉者であったことから考えると、当然ながら西はミルの思想・学説を学んだことであろう。西は帰国後、幕府の開成所教授手伝に復帰しているので、講述などでミルが少しずつ浸透していったと思う。

慶応義塾を始め明治初期には様々な塾が開校されており、それらの塾ではおおむね上級の授業で思想的な原書を読ませたようである。たとえば尺振八の明治3年創立の英学塾「共立学舎」はミルやベンサム(ベンサム)の著書を使用したもようで、こういう例からみるとミルは早くから教育の場にも登場していた。〔参照図書：麻生義輝『近世日本哲学史』/ピオヴェザーナ著・宮川透他訳『近代日本の哲学と思想』/杉原四郎『J. S. ミルと現代』〕

忘れもん、ありのまま

島岡 丘

「忘れもん」は、「忘れ物」とするのが妥当だが、言いにくいので、話し言葉では表題のように「忘れもん」となることが多い。九州出身の人にたまたま聞いたところ、「忘れもん」が九州で一般に使われていて、「忘れ物」は文字の場合で、耳にすることがないとのことであるが、読者の方々の郷里ではいかがでしょうか。

似たような例では、「掘り出し物」と「掘り出しもん」、「馬鹿者」と「馬鹿もん」、「偽物」と「にせもん」などいろいろあるが、日本語は「一もん」で終わることばが意外に多いのではないだろうか。「羅生門」、「柿右衛門」、「雷門」など日本の文化に関係深いのもあれば、「ドラえもん」のように、人間のコンパニオンのようなキャラクターの存在もある。

最近キャラクター商品の「ポケモン」が登場して、国内だけでなく、ニューヨークの子ども向けテレビ番組で人気を博しているものもある（ただし、この場合の「一もん」は周知のように151匹の Pocket Monster(s) から由来したのであるが）。

「忘れ物」は誰にでもあるようだが、私自身も小田急沿線の大学を訪れた帰りに、電車の中で、紙袋を置き忘れたことがある。忘れ物をした原因は、途中でビールを飲んだため、ほろ酔い気分だったせいでもある。

小田急線の電車の中、または各駅での忘れ物はすべて南新宿駅（新宿の次）に送られ、そこの遺失物取扱所に保管されて、置き忘れた乗客からの問い合わせに応じることになっている。

私自身も忘れ物を取りに、南新宿に足を運んだ。係員は、置き忘れた日は何月何日のことか、どんな入れ物で、それはどんな色で、中味は何かなどを聞き、相手に間違いないかどうかを確かめる。

忘れ物を取りに行ったついでに、係員に忘れ物についていろいろと尋ねてみた。そのおかげで興味深いことがあったので、ご披露したい。

1日に忘れ物の数は平均して200から300個もあり、係りの人には、置き忘れた日を伝えてあげないと何十頁も忘れ物の記録簿をめくって点検しなければならぬからたいへんである。

最近紙袋の忘れ物が多いそうだ。また、雨の日になると傘の忘れ物が実に多いのだそうである。小田急線を

利用する乗客だけで、1日平均800本から1000本ぐらい置き忘れの傘があるそうだ。これは届けられた数だが、実際はもっと多いかも知れない。小田急線だけでこれだけあるのだから、全国のJRやほかの私鉄での置き忘れを集計すると、おそらく、1万本や2万本をくだるまい。

私は係りの人にこれらの忘れ物を取りに来る人はどれくらいいるのか聞きたところ、大体1割ぐらいでしょうね、という返事だった。もったいないですね、一体どんな人が忘れ物をするのでしょうか、とさらに尋ねると、高校生や大学生が多いという返事が返ってきた。その証拠に夏休みになると忘れ物の数が急減することである。

私のような年輩者に忘れ物が多いのではないかと思っていたので、係りの人の話は意外だった。自分のお金で買ったのではなく、親のすねっかじりで買ってもらったので、品物に愛着がないのではないかと勘ぐりたくもなる。また、年輩者があまり忘れ物をしないのは長年同じものを持ち歩いているので、持ち物に愛着心が比較的強いのではとも考えたくなった。

係りの人と一緒に忘れ物のリストを見ながら、私が感じたのは「現金」の届けが極めて多いということだった。日本人はまだ他人への思いやりの心が失われていない、つまり、文明度の高い民族性をもっているのではないだろうか。中には100円でも10円でも届ける人がいるそうである。忘れ物のうち、現金を届ける割合の国際比較などしてみると面白いだろう。日本の場合はかなり上位になるのではないかと思う。一方では、「げんなま」は落とす方が悪いので、拾った人は幸運であり、当然自分のものとしてしまう個人やそのような集団もないわけではないかもしれない。

私自身のことで恐縮だが、今から10数年前、英語教育に関係する賞で、ELEC賞というものをいただいたことがあるが、賞金もいただいたので、その半分をお世話になった、サンフランシスコ大学名誉教授の John Dennis 先生に差し上げたところ、たいへん喜んでくれて、私の大学人としての生涯で、これほど嬉しく感動したことはない。日本人はお礼の気持ちを忘れない高い文明をもっているといってくれたので、私のほうがかえって感激したことを覚えている（参照：ジョン・デニス・島岡丘共著『統一的外国語教授法』（大修館書店））。

最近のことで、私が忘れ物をした経験は、11月初め、仙台で行われた学会に出席し、その帰りに起きた。駅近

くにある仙台メトロポリタンホテルにチェックインして自分の部屋に入ろうとしたとき、何気なく内ポケットのにさわったら、財布がない！ さあ、たいへん！ 財布の中には現金だけでなく、帰りの新幹線の切符、関西へ出張するための長距離バス券などのほかクレジットカード、印鑑、コピーカードなどが入っていた。すぐにフロントに戻り、部屋に案内してくれた係りの女性に事情を話した。きっとタクシーから降りた際、上着のポケットに財布を入れたと思ったが、誤って、スプリングコートの裏を上着の裏と錯覚したらしいと伝えた。

私の話を聞いたその若い案内嬢さんはクレジット会社へ電話をかける用意をすると同時に、すぐにホテルの正面で働いているドアマンところに行き、私を降したタクシーはどのタクシーかと聞いてくれた。幸いなことにそのドアマンは私のことを覚えており、私を降ろしたタクシーも覚えていてくれたので、たいへん助かった。おかげで、案内嬢は、即座にそのタクシー会社に電話をかけることができた。するとタクシー会社はすぐに無線で連絡し、ホテルに私を降ろしたタクシーは123号車であることを突き止めた。その後、5分もしないうちに私の落とし物を見つけたことをタクシーの運転手からホテルに連絡がはいった。私は、一命を取り留めたような思いであった。

一見、ホテルの入り口で、働いている正装したドアマンは単なる飾りのようであるが、このような場合、実に役に立ってくれる。職業柄、どのタクシーにどんな人を乗せてきたのかを覚えているのである。ただ、ホテルに着いたタクシーのドアを開けたり、荷物を降ろしたりするだけではない。ぼんやりと立っているわけではないことをあらためて知り、客に対して、誠意あるサービス精神をもって働いていることを悟ったわけである。

これが、もしも外国だったらどうだろうと考えると背筋が寒くなった。ドアマンにチップを払っていなければ、誠意をもって応対してくれなかつたら（パリのレストランで昼食を取ったとき、あまりおいしくなかったのも、チップを払わなかつたら、置き忘れたクセジュ文庫の *La Linguistique* という本を返してもらえなかったことがある）。また、忘れ物の処理をしてくれた案内嬢もチップをもらうことを当然要求したのではないだろうか。金銭と無関心に、お客へのサービスを第一に考えるよい習わしを諸外国にひろげてもらいたいものである。

私は財布がもとのまま戻ったことがとても嬉しかったので、届けてくれたタクシーの運転手に中味の一割程度お礼したが、一方、冷静にまた笑顔を絶やさずテキパキと処理してくれた案内嬢にもお礼をしたかった。しかし、何も受け取ろうとせず、客に役立ったことをあたかも生き甲斐に思っているような感じで、日本人の親切心の有り難さを肌身で感じ取った。

長男にこの一連の事件を話したところ、運がよかっただけじゃない、財布はなくなってしまったかも知れず、もっと注意をしなければ駄目だよ、と言われてしまった。

二度とこのような「うっかり」が起こらないようにするにはどうすればよいだろうか。私の経験を振り返ると、UCLA で当時知名度が高かった Stephen Krashen 教授を偶然見かけたとき、是非話したいと思って、脱いだ上着をそのまま学生食堂に置き忘れて、教授のところに行ったり、京都駅で土産物を買うために財布を取りだしてお金を払ったあと、土産物に神経が集中していたせいか、財布をうっかり新刊の週刊誌の上に置きっぱなしにしそうになったこと、などを考えてはると、どうも次のような結論が導かれるようだ。一つのことに意識が行くと、それ以外のことが忘れがちになる。

では、どうすれば「うっかり」が防げるのだろうか。たとえ、何か一つのことに集中しても、自分のまわりのことに常に注意を払うことである。柔道界で言う、「自然本体に構え」である。あるいは Boy Scout で言う Be ready、つまり、どんなことが身近に起きてても対処できる用意ができていることが大切ということになる。

年を取ると、もう物忘れが多くなって仕方がない、ぼつぼつ引退の時期かな、と一般に考えがちである。しかし、私の恩師はじめ、まわりの年輩者は年老いてますます頭脳は明晰で、執筆も盛んである。そのような方々は、おそらく、大自然からの贈り物を、全身で受けとめられ、体内にある数十億個の細胞の多くを活性化されておられるのだろう。多くの若い人達と接したり、日誌を書くことで、楽しい思い出を深化させたりなどして、絶えず脳に刺激を与えることがよいのであろう。

人間はそれぞれ一人一人特徴があり、長所もあれば弱点もある。友好的な Human network のようなものがあれば、長所を認め合い、弱点をお互いに補い合い致命的な失敗をすることなく、人生をエンジョイすることができるのであろう。 (茨城キリスト教大学教授)

Bibliographisches Institute & Meyers Lexikonverlag & B.I.Taschenbuchverlag

定評ある出版社のドイツ語辞・事典

新発売 マイヤー・グロスタッシェン・レキシコン 第6版 全24巻

Meyers Großes Taschenlexikon in 24 Bänden, 6 Auflage

12.5 x 19 cm 140,000 項目 4,000 以上の写真・イラスト 7,680 ページ
März 1998 ISBN 3-411-11006-6 セット価格 ¥29,260

《 Der Duden in 12 Bänden 》

ドイツ本国においても最も権威あるドゥーデン語学辞典・全12巻

- Band 1 Die deutsche Rechtschreibung (正書法辞典) ISBN 3-411-04011-4
 - Band 2 Das Stilwörterbuch (語法辞典) 3-411-20902-X
 - Band 3 Das Bildwörterbuch (図解辞典) 3-411-04034-3
 - Band 4 Die Grammatik (文法辞典) 3-411-04045-9
 - Band 5 Das Fremdwörterbuch (外来語辞典) 3-411-04056-4
 - Band 6 Das Aussprachewörterbuch (発音辞典) 3-411-20916-X
 - Band 7 Das Herkunftswörterbuch (語源辞典) 3-411-20907-0
 - Band 8 Die sinn- und sachverwandten Wörter (同義語辞典) 3-411-20908-9
 - Band 9 Richtiges und gutes Deutsch (正しくて良いドイツ語) 3-411-04094-7
 - Band 10 Das Bedeutungswörterbuch (語義辞典) 3-411-20911-9
 - Band 11 Redewendungen und sprichwörtliche Redensarten (慣用語句と諺) 3-411-04111-0
 - Band 12 Zitate und Aussprüche (引用語句と格言) 3-411-04121-8
- 各巻 ¥4,480 (為替の変動により価格が変わる場合があります)

好評発売中！ 《 ドゥーデン・ドイツ語大辞典 全8巻 》

Duden-Das Große Wörterbuch der deutschen sprache in 8 Bänden

見出語約500,000以上 5,000 ページ ISBN 3-411-04732-1 セット価格 ¥64,000

Bibliographisches Institute / Meyers Lexikonverlag / B.I.Taschenbuchverlag

// Mannheim 日本総代理店 日本出版貿易株式会社

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町1-2-1 Tel 03-3292-3755 Fax 03-3292-8766

1998年11月 通巻第378号 洋書輸入協会 編集者 高橋 紘
☎103-0027 東京都中央区日本橋1-21-4 千代田会館5階20号室 ☎(03)3271-6901 FAX.(03)3271-6920

印刷所 - 藤本総合印刷株式会社